

議会運営委員会 研修報告

平成25年11月25日、27日

今回は、兵庫県小野市、大阪府阪南市、大阪狭山市の「議員定数削減」と「議会改革の取り組み」について研修を行った。

小野市では、市の方針管理制度により「何をやっているか」ではなく「何をもたらしたか」に重きを置き、市役所を「市内最大のサービス産業の拠点」と捉え「市民＝顧客」

であり、顧客満足度を最大の指標としている。

この方針に沿い、議会でも様々な改革が行われている。現在の議員定数は16人。常任委員会の再編を行いながら、2つの常任委員会で審査を行っている。また議員へパソコンを1台ずつ配布、議会グループウェアの導入など、情報の共有化にも努めている。

阪南市でも現在の議

研修風景（大阪狭山市）



兵庫県小野市(人口50,042人)
大阪府阪南市(人口57,422人)
大阪府大阪狭山市(人口57,857人)

員定数は16人。市の財政状況も影響し、議員定数の削減や支出の抑制策を行っている。政務活動費の凍結や行政視察の休止なども行っている。また例規集や会議録も電子媒体で配布するなど電子化されている。最新の議場システムも導入されており、職員の削減も行われている。

大阪狭山市の議員定数は15人。「議会傍聴呼び

かけ隊」を結成し、議会の活動を市民に広くPRしている。

地方議会の「議員定数はどうあるべきか」という課題は、市民の負託に応え、より良いまちづくりを推進していくために、自治体の特性を、多方面から深く議論する必要があると感じた。

先進地に学ぶ ～研修レポート～

研修風景
(宮城県利府町 人口35,750人)



議会だより編集 特別委員会報告

広報コンクールに 毎年入賞の議会へ 行政視察

10月29日、宮城県利府町議会を訪ねた。ここは町村議会広報全国コンクールで23年より毎年入賞する巧者である。その編集方針は、審議結果だけでなく、審議の経過と内容をわかりやすく、正確に住民に伝えることとしている。また、議会傍聴できない住民に対し

ても、傍聴したのと変わらないぐらいの情報を提供できるように考え編集していた。

研修を受け、議会と市民の信頼関係づくりのために、議会だよりは欠かせないものであると改めて感じた。そのためにもより読んでもらえるよう努力が必要だと痛感した。

また町内に、楽天イーグルス2軍ファーム本拠地を有していることから、議会でも球団支援に取り組んでいた。筑後市議会でも支援の一つとして、前号から表紙をソフトバンクホークスカラーにするなどし、PRに取り組むこととしている。

また、11月に広報研修会（福岡県町村議会議長会主催）に参加した。講師より紙面改善の指摘を受け、まだまだ改善の余地ありと考えている。

これからも市民に親しまれるような紙面づくりに努力していきたい。